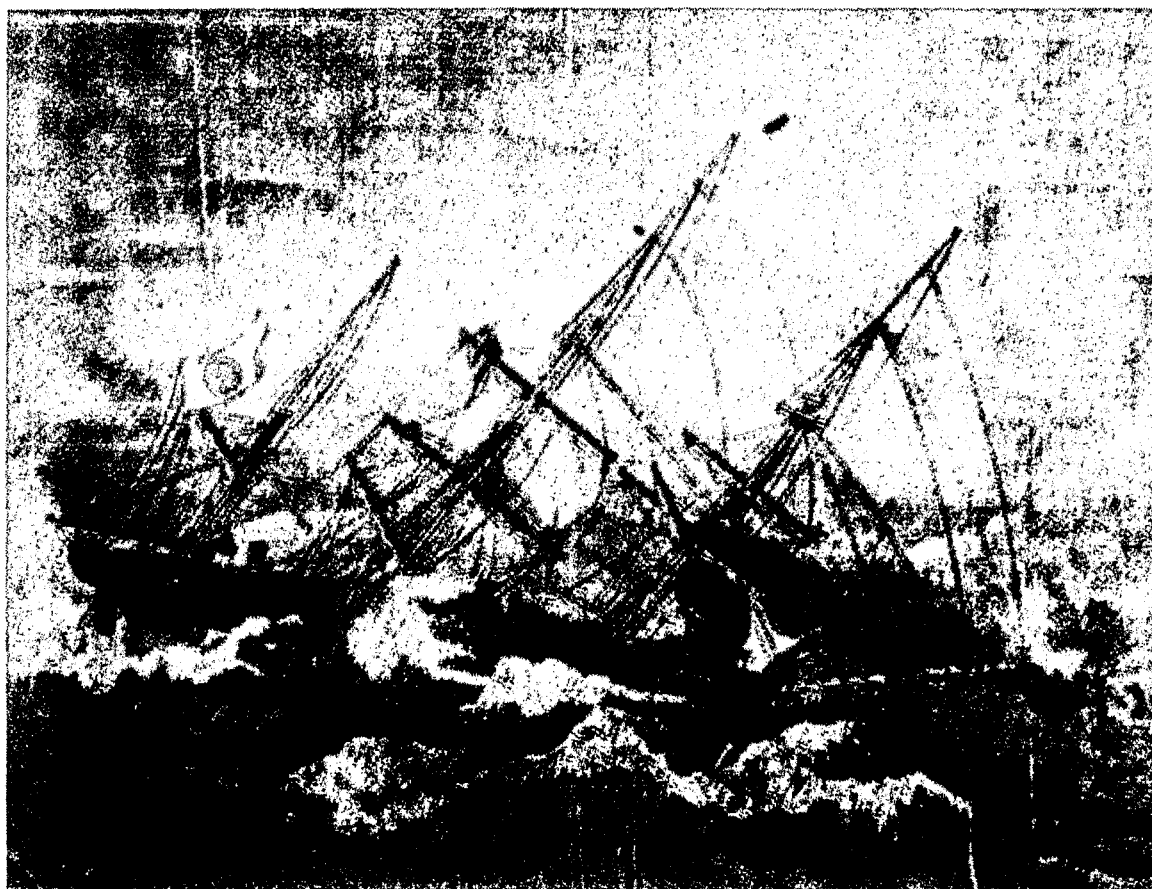


小栗忠順が「咸臨丸」で渡米した際、ふところから取り出した「そろばん」で計算して見せ当時のアメリカ人を驚かせた

1860年6月15日付の『ザ・フィラデルフィア、インクワイヤラー』紙に、「日本の高級役人はアバカスを持っていた。五つずつの木製のボタンが15列並んでいる。日本の監察官オグロ・ブンゴノカミは会議が始まると、そのボタンをあっちこちに滑らせ、恐るべきスピードで計算をしてしまう。」という記事が掲載されていた。

(坂本藤良著「小栗上野介の生涯」より)



咸臨丸 勝海舟を艦長に日本人による初の太平洋横断に成功した。(『咸臨丸難航記』より)